

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.2)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	トラストネクス木町		階数	地上9F
建設地	福岡県北九州市小倉区木町1丁目		構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域		平均居住人員	316 人
気候区分	地域区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅		評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年10月	0.0	評価の実施日	2011年8月30日
敷地面積	3,244 m ²		作成者	渡邊 靖司
建築面積	1,918 m ²		確認日	2011年8月30日
延床面積	6,942 m ²		確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.1</p> <p>S: A: B+: B: C:</p>	<p>標準計算</p> <p>参照値</p> <p>建築物の取組み</p> <p>上記+ 以外の オンサイト手法</p> <p>上記+ オフサイト手法</p> <p>(kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q1 室内環境</p> <p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>LR1 エネルギー</p> <p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR3 敷地外環境</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Q のスコア = 2.8</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 3.2</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 2.7</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 2.5</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LR のスコア = 3.3</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 3.7</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 3.0</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.1</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>全戸南面した集合住宅で、南側隣地は分譲戸建て住宅地であり、十分な採光、自然換気性能がある。また、敷地内に十分な駐車・駐輪台数を確保している。</p>	<p>その他</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>防音サッシ(T-2等級)を採用し開口部遮音性に配慮し、外気に面した開口部を十分にとり、昼光率、換気性能を高めている。また、バルコニー庇とカーテンにより glare対策としている。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>恒久的なゴミ置場を設置、各戸にメーターボックスを設置して維持管理機能を確保、空調・給排水管は耐用年数の高い物としている。また、節水器具を採用し可能な限り配管系統を区分している。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>緑化面積を確保するとともに中高木を多用。見通しの良いフェンスで囲い防犯に勤めている。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>全戸に潜熱回収型ガス給湯器を採用しエネルギーの高効率化を図っている。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>外構の舗装路盤に鉄鋼スラグ混入路盤材を採用している。主要水栓、大便器は節水型を採用している。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>住戸数79に対し92台の駐輪場、103台の駐車場を確保し、2層式として導入路の配慮をしている。</p>

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい